

## 第3回自動車整備技術の高度化検討会 議事概要

1. 日時：平成24年 1月31日(火) 15:00~17:00

2. 場所：経済産業省別館 8階 827号会議室

3. 出席者：

須田座長、古川委員、廣中委員、小松委員、根來委員、帯刀委員、渡辺委員、中嶋委員  
高橋委員、廣川委員、江坂委員、今田委員、島委員

4. 議事概要

(1) 委員の交代

全国自動車大学校・整備専門学校協会の齋木委員に代わり、廣川委員に代わった。

(2) 標準仕様機を使用した調査の現状報告

① 事務局、江坂委員、中嶋委員より資料3により説明があった。

主な意見は以下のとおり

- ・今回の調査に供した標準仕様試作機は、故障診断機という位置づけで試作したものである。検査で使用することになった場合、検査に特化した仕様が必要になる。
- ・レディネスコードについて、もともと英語が元になっているので日本語表記がバラバラ。そのため、統一することが必要ではないか。

(3) 各ワーキンググループの検討状況の概要

① 渡辺委員、廣中委員、小松委員より資料4について説明があった。

主な意見は以下のとおり。

- ・情報提供の範囲について、一つ一つ個別に検討していると膨大な時間が必要となる。そのため、情報提供についての考え方を欧米を参考にしながら整理した方がいい。
- ・大型車用のスキャンツールは、市場に普及しておらず、技術講習を全国的に展開出来ない状況である。今後、各地で技術講習を開催するには、講習内容、使用する機器について検討が必要。

② 渡辺委員より資料5について説明があった。

主な意見は以下のとおり。

- ・自動車の安全・環境性能の確保や自動車産業の発展には、新技術に対応できる一級自動車整備士を育成していくことが重要であり、二級、三級自動車整備士についてはその過程で必要となる知識、整備技術について考えていく方向がいい。
- ・現在は、一級自動車整備士の資格を取得してもメリットが少ない。整備事業者の現状も踏まえる必要があるが、例えば、スキャンツールを扱うためには、一級自動車整備士の資格が必要など今回の検討会の内容と絡めて、一級自動車整備士のメリットについて考えてみてはどうか。
- ・一級自動車整備士のメリットについては、自動車の安全・環境の確保の観点から考えてみてはどうか。
- ・自動車整備士の役割は、何ができるかという書きぶりではなく、何について責任を負わせるかという視点があった方がいい。

#### (4) 報告書案（骨子）の審議

① 事務局、中嶋委員、渡辺委員より資料6について説明があった。

主な意見は以下のとおり。

・スキャンツールの取扱については、一級、二級、三級自動車整備士の区別は関係ないと思う。早くスキャンツールに係る情報を出して整備工場で働く整備要員の全てが持つような環境を整備すべき。そのため、情報提供のあり方について、いつまでに行うのか、時期を明示することを検討すべき。

・資料5の別紙1の表は、よくまとまっていると思うが、報告書をまとめるにあたっては養成施設側の意見も取り入れて欲しい。

・一級の役割を明確にしたうえで資格制度活用についても、いつまでに何を行うのか検討すべき。例えば、教科書は、毎年改訂してほしいが、スキャンツールの取り扱いについては、教科書の改訂ではなく、別冊みたいなものにして早く導入した方が良い。

・整備業界が優秀な人材を確保するためにも、一級自動車整備士のメリットについて検討して欲しい。

・国際化をまとめるにあたって、海外の動向をきちんと調査して、いいところは取り入れていく方向で検討すべき。

・日本車が海外に輸出されていることを考えると、輸出される場所に対してスキャンツールも海外へ輸出されるようになることを踏まえた検討も必要。

・FAINESのような集中データシステムは海外では見当たらないので、海外での活用や海外展開も考えるべき。また、FAINESを整備情報のポータルサイトとして活用することは重要であり、スキャンツールと連携させることが必要。その方向で検討していただきたい。

#### 5. 今後の予定について

事務局から資料7により説明を行った。